

日本糖尿病理学療法学会 第3回症例報告学術集会
学術集会概要

1. 会 期 2017年3月18日(日曜日)

2. 会 場 幕張国際研修センター

3. 参加費:

会 員 : (事前申込) 3,000 円/ (当日申込) 4,000 円

非会員(他職種) : (事前申込) 3,000 円/ (当日申込) 3,000 円

非会員(理学療法士): (当日申込) 10,000 円* 事前申込は御座いません。

4. 参加申込

会 員: 事前申込は、日本理学療法士協会マイページよりお願い致します。

他職種: 事前申込は、①氏名、②職種、③所属(施設名・部署名)、④日本糖尿病療養指導士取得の有無(取得済みの方は認定番号)、⑤電話番号、⑥E-mail アドレスをご記入の上、下記 E-mail アドレスまでお送りください。

E-mail:dmpt0318@gmail.com

本学会は会場の関係により参加者は最大 216 名までとなっております。

最大人数に達した場合、当日お越し頂いても参加はできませんので、事前申し込みをお願い致します。

認定単位 日本糖尿病療養指導士更新単位 申請予定 2 群

5. 学術集会長 石黒 友康 (日本糖尿病理学療法学会 運営幹事、東都医療大学)

6. 準備委員長 笠原 啓介 (君津中央病院)

7. 参加者 216 人

8. 事務局 君津中央病院

笠原 啓介

TEL 0438-36-1071

E-mail:dmpt0318@gmail.com

9. 学術集会企画

プログラム

<セッション1(グループワーク)>

司会: 森本信三(白浜はまゆう病院)

笠原啓介(君津中央病院)

演題:「肥満糖尿病患者の運動療法について」

演者: 井上久登(君津中央病院)

内容: 肥満を合併した糖尿病患者の運動療法の他、栄養・薬物療法などの療法指導、また動機付け、行動変容も含め、多職種での関わり方をディスカッションする。

<教育講演>

講師：浅田史成（日本糖尿病理学療法学会 運営幹事、大阪労災病院 治療就労両立支援センター）

万行里佳（日本糖尿病理学療法学会 運営幹事、目白大学）

演題：「患者の動機付けを促す行動変容アプローチー理論と実践ー」

座長：石黒友康（学術集会長）

内容：動機付けを促す行動変容についての科学的根拠となる先行研究、また実際に関わるときの注意点、ポイントなどの講演とする

<学術集会長講演>

テーマ 運動療法研究の変遷

集会長 石黒友康（学術集会長）

司会 野村卓生（日本糖尿病理学療法学会 代表運営幹事、関西福祉科学大学）

内容 糖尿病患者に対する運動療法のエビデンスまた、今後の運動療法の可能性について先行研究も含めた講演とする

<セッション2（グループワーク）>

司会 河江敏広（日本糖尿病理学療法学会 運営幹事、広島大学病院）
鈴木康裕（筑波大学附属病院）

演題「冠動脈バイパス術後に血糖コントロールが不良であった2型糖尿病患者」

演者 加藤秀典（筑波大学附属病院）

内容 心臓リスクを踏まえた上で、その再発予防に向けた運動、栄養、薬物療法の関わり方について多職種でディスカッションする

10. 日程表

8:30～	受付開始
9:00～9:10	開会挨拶
9:10～11:10	セッション1
11:10～11:20	休憩
11:20～12:20	教育講演
12:20～13:20	昼食休憩
13:20～14:20	集会長講演
14:20～14:30	休憩
14:30～16:30	セッション2
16:30～16:40	次期集会長挨拶
	閉会挨拶